

## キルギス政治・経済レポート

## 新キルギス NOW

(第 8 号 : 2012 年 7 月 ~ 8 月期)

\* 本レポートは ROTOBO の協力者である現地専門家の執筆によるものです。内容は執筆者の個人的見解であり、ROTOBO の組織的見解とはいかなる意味でも関係ありません。内容の無断転載、引用は堅くお断りします。

## 【政治】

## 議会

## 連立政権崩壊する

8 月 24 日、アタンバエフ大統領は、議会で過半数を失った連立政権の解散を決定しました。連立政権のアル・ナムス党とアタ・メケン党が相次ぎ離脱し、現行政権は、僅か 8 ヶ月で崩壊しました。ババノフ首相が、建設工事契約と交換にトルコ企業から、150 万ドルの競走馬を受取ったと、アタ・メケン党が告発したことから、この数週間、連立政権が大きく揺れました。首相は、馬を 2 万ドルで購入したものと、反論しましたが、アタ・メケン党は、不信任案を提出しました。アタ・メケン党は、連立を離脱した理由として、過去 1 年以上低迷する経済をあげています。昨年 12 月、首相が就任して以来、首相に反対する流れがありましたが、専門家は、首相を更迭する動きは、民主主義を守るという政党間の政治的競争以上のものがあると言います。アタ・メケン党は、以前よりババノフ首相の政治改革に反対してきており、他の連立パートナーからの支持は、各党のメンバーに重要ポストを与えることで買った忠誠心に依存していました。アタ・メケン党は、前日に連立政権を離脱したアル・ナムス党に参加し、ババノフ首相を辞任させて、新たに選挙を行うことを要求しました。しかし、専門家は、現在の国家財政から、新たな選挙は難しいと見えています。多くは、新たな連立政権を作ると予想していますが、どのような連立になるかは不透明です。深く分断された南北を統一するために、大統領が、愛国主義を唱えるアタ・ジュルト党のタシエフ党首を指名すると予想する人もいます。タシエフ党首は、南部で強い支持があり、ビシュケクにある中央政府が、この地域のコントロールを取戻す助けになると考えられます。しかし、改革派政党が、独裁的大統領モデルに戻そうとしているアタ・ジュルト党と一緒に働くことは難しいと思われます。おそらく、改革派政党は、少数与党で、何とかやっていくことを余儀なくされると予想されます。

**外交****ロシア、キルギスに対する債権を放棄**

ロシアのシュバロフ第一副首相は、キルギスのカラシェフ第一副首相と会談し、キルギスの抱える負債額免除と、軍事協力、電力プロジェクトでの共同について議論しました。モスクワは、キルギスの負債額 4 億 8,900 万ドルのうちの 1 億 8,900 万ドルを直ちに債権放棄することに合意しました。キルギスは、残りの 3 億ドルを 2016 年から 10 年間、毎年均等払いで返済予定です。この合意は、10 月中旬に両国間で正式調印する予定です。また、キルギス政府は、ロシアの中央アジア軍事施設の使用を、15 年間延長することに仮合意しました。この新しい合意は、現在のリース契約が終わる 2017 年から効力を発します。ロシア高官は、「我々の目的は、キルギスの国と安全を守ることにある」と述べています。ロシアは、現在、ビシュケク郊外のカントに空軍基地を持ち、東部イシクル湖に魚雷試験施設、北部チュイ州に通信センター、そしてマイル・スウに、地震研究所を持っています。更に、両国は、カンバル・アタ 1 の建設と運営、およびナリン川上流のカスケード型水力発電所建設についても合意しました。ロシアのプーチン大統領とメドベージェフ首相は、最近、外交担当にキルギスとの契約合意を急がしていたようです。シュバロフ第一副首相は、「プーチン大統領が、私に、キルギスを訪問して、軍事・技術問題、エネルギー、そして金融問題の決着交渉をするよう命令した」と述べています。

**安全保障****マナス空港に代わる米軍基地は**

タジキスタンを訪れたバートン（米国）議員は、「米国は、2014 年、タジキスタンへの軍事援助を増やし、軍事基地を開設する計画をしている。2014 年 NATO 軍が撤退したあと、米国は、アフガニスタンからの武装過激派や麻薬の中央アジアにおける取締り強化にイニシアチブをとるだろう。タジキスタンとアフガニスタンの国境線 800 マイルは、穴だらけである」、「ワシントンは、2014 年にキルギスとのマナス空港輸送センターのリース終了後、米軍基地の代替ホスト国として南東中央アジアの国に注目している」と述べました。一方、タジキスタンには、ロシアの軍事施設が複数あります。ロシアは、2004 年、2 国間で調印された 10 年契約で、タジキスタンのいくつかの軍施設を無償で使用することができますが、最近、タジキスタンは、クレムリンに軍施設使用料の支払を要求しています。タジキスタンは、今後、キルギスに代わり中央アジア地域の安全保障における重要な役割を演じることになるのでしょうか。

**ウズベキスタンとの国境で、警備兵同士の撃ち合い**

ウズベキスタンと国境を接する南部ジャララバード州の国境領域で、ウズベキスタン警備兵とキルギス国境警備が撃ち合いになり、それぞれが死亡、キルギス市民数人も怪我をしました。事

件は、キルギス側の道路工事労働者が、境界区分がされていない区域を通行しないよう注意されていたにもかかわらず、工事を続けていたため、これをウズベキスタン警備兵が停止に入り、小競り合いから、さらに銃撃戦に発展したものです。ウズベキスタン警備兵が、先に銃を発射したので、キルギス側も報復したものと、キルギス国境サービス広報担当は、説明しています。

## 【経済】

### 経済・多国間関係

#### イラン、キルギスへの経済協力を意欲

キルギスのジャパロフ財務大臣は、イランとの二国間経済協力会議で、イランが、短期プロジェクトに 10 億ドル、長期プロジェクトに 100 億ドルを投資する用意があり、更にビシュケク・テヘランの直行便を開始したいという提案があったと公表しました。ジャパロフ大臣は、「10 億ドルの建設投資は、ビシュケクはすでに急速に多くのビルが建設されているので、キルギス政府としては、インフラ整備のプロジェクトを進展させ、特に都市インフラ開発と住宅ローンの分野で、協力を期待する」と述べました。この他、イランは、キルギスに、イラン～アフガニスタン～タジキスタン～中国鉄道建設プロジェクトの参加を打診、キルギスの建設費用をファイナンスする用意があると表明しています。

#### 韓国の官民一体による中央アジア経済進出

韓国外務省は、中央アジア諸国の政策立案担当者、ビジネスマン、学者など 100 人以上を首都ソウルに招待、炭化水素が豊富な同地域への投資促進について議論しました。テーマは、再生エネルギー、医療、インフラ、金融、そして現代音楽などの分野です。韓国外務省キム大臣は、キルギス、ウズベキスタンと「更なる協力のための」仮契約を個別に調印したと公表しました。韓国は、同地域のエネルギー分野とインフラ事業への参入に、外交関係を利用しようとしています。また、カザフスタンとウズベキスタンで最近流行している韓国音楽の輸出を後押ししています。中央アジアには、ソビエト時代、スターリン主義で追放された朝鮮人が、50 万人住んでいます。韓国の大企業は、最近、カザフスタン、トルクメニスタン、ウズベキスタンで、化学プラントや発電所の建設、ガス採掘、石油精製所の建設など、多くの実績をあげていますが、一方で、巨大な隣国、中国との厳しい競争に晒されています。

**キルギス・中国 貿易・経済協力政府間委員会**

カラシェフ第一副首相は、北京で開催された第9回キルギス・中国 貿易・経済協力政府間委員会に出席しました。議題は、両国の協力に関する幅広いテーマを含み、特に、経済の最有望分野における二国間協力、農業分野、地域経済開発の協力などでした。2011年の中国とキルギスの貿易額は、49億8千万ドル、前年比18.5%増でした。キルギス側は、オシュ～サル・タシュ～イルケシタムの道路建設、ダトカ・ケミンの変電所と送電線建設などの大型共同プロジェクトの実施を歓迎しました。また、中国側は、キルギスに、中国～キルギス～ウズベキスタン鉄道建設プロジェクト、キルギスを経由するカザフスタンからの石油パイプライン、大手中国銀行の支店開設などを急いで進めたいと要請しました。第一副首相は、「中国との共同プロジェクト開発に強い関心と用意がある。また、この政府間委員会が、両国の国交20周年記念と中国・キルギス友好協力条約締結10周年記念に開催されたことは、非常に意義深い」と結び、中国側に感謝の意を伝えました。

**カザフスタン国民福祉基金**

昨年6月、カザフスタン国民福祉基金（サムルク・カズナ）との間で、1億ドルのキルギス・カザフ投資基金を創設することが合意されました。この投資基金は、キルギスのエネルギー、通信、交通インフラ開発、製造業や観光などの事業に向けられる計画です。このほど、カザフのカズナ・キャピタル・マネジメントは、カザフスタンとキルギスの共同投資基金が選んだ投資プロジェクトを発表しました。カズナ・キャピタルは、サムルク・カズナのプライベート・エクイティ部門です。今回選ばれた4件のプロジェクトは、乳製品加工、物流運輸、灌漑セクター、そして包装資材です。これらのプロジェクトは、82件の候補から厳選されたもので、投資総額は3,000万ドルです。

**貿易経済関係の発展****2012年度上半期 GDP、前年同期比マイナス5.6%に下落(国家統計委員会)**

キルギスの2012年上半期GDPは、クムトールの不振が原因で大幅に下落しました。昨年、クムトールだけでキルギスのGDPの約12%、輸出総額の半分以上を計上していました。また、キルギスの工業生産は、今年上半期、31.6%落ち込みました。しかし、クムトールを除くと、キルギスのGDPは、今年、+3.9%、工業生産も+8.2%に拡大しています。今年3月、クムトールの親会社センテラ・ゴールド社は、当初生産予想575,000～625,000オンスを、390,000～410,000オンスに減額修正しました。クムトールは、昨年、同社の90%以上の金を生産しています。

**キルギスの上半期インフレ率 2012 年度上半期インフレ率、前年同期比+0.9%(国家統計委員会)**

は、CIS 諸国の中で 8 番目、+0.9%でした。ロシアは+3.2%、カザフスタンは+2.7%、ウズベキスタン+6.2%でした。2012 年上半期の物価に大きく影響した要因は食品と飲料で、消費バスケットに占める率が 46.2%あり、この価格が 3.1%下落しました。パンと穀物価格は、年初から 6%下落、食料オイルが - 3.4%、チーズ・卵 - 8.8%、食肉 - 1.2%、野菜 - 11.7%など軒並み下落しています。一方、消費バスケットに占める率が 29.7%ある工業品は、+4% (衣料・靴+8%、家庭用品+5.6%など)、燃料+2.7%でした。サービス (シェア 14.5%) は、+4.9% (健康サービス+4.8%、交通+5.2%、レクリエーション・文化活動+2.8%、レストラン・ホテル+8.2%など) でした。

**月額平均賃金統計**

国家統計委員会は、キルギスの零細企業を除く月額平均賃金が、10,473 ソム (227.42 ドル) になったと発表しました。地域別では、最も高い平均賃金が、ビシュケク市で、13,686 ソム (297.2 ドル)、最も低い賃金は、イシクル州で、7,062 ソム (153.39 ドル) でした。その他、ナリン州は、10,180 ソム (221.07 ドル)、オシュ州は、7,547 ソム (163.89 ドル)、オシュ市は、9,322 ソム (202.44 ドル) でした。職種別の最も高い賃金は、金融サービスで、22,678 ソム (492.48 ドル)、次が、商業・通信で、16,085 ソム (349.3 ドル)、ガス・電気・水道セクターは、14,270 ソム (309.89 ドル)、製造部門は、10,270 ソム (223.02 ドル)、医療・社会福祉労働者は、9,454 ソム (205.3 ドル) でした。

**投資政策・金融市場****キルギスのシャドー経済は、経済全体の 50%～70%**

経済・独占禁止政策省のサリエフ大臣は、「ビシュケクは、シャドー経済を解消できないでいる。キルギスのシャドー経済は、経済全体の 50～70%を占めている」とコメントしています。同省では、現在、シャドー経済について調査中で、数か月後には、調査結果が出る予定です。シャドー経済は、またブラックマーケットと呼ばれ、国税当局の手が届かないところに存在しています。キルギスの税収は、この数年、減少していますが、非正規雇用者が増えており、雇用者が税を徴収していないことが大きな原因です。サリエフ大臣は、「キルギスには 30 万の事業者がいる。このため、シャドー経済がなくなれば、国の税収は数倍に増える」と付け加えました。しかし、キルギスの経済では、この他に高い汚職率とすべての工業生産部門における低生産性というもう一つの大きな問題があります。

## ババノフ首相の経済開発構想

ババノフ首相は、企業が、地方に工場を建設する場合、3年～5年間の免税優遇措置が受けられるようにすると述べました。現在、企業の55%は、ビシュケク市とチュイ州に集中していますが、他の地域の経済開発を推進することが、国内の人口移動を止めるのに重要であると考えています。さらに、首相は、国が、輸出指向産業に対して、キルギス国立銀行の融資を受けられるよう支援すると約束しました。キルギスの産業セクターは、1991年の独立以来、停滞していて、ほとんどの原材料を、輸入している状況です。

## 鉱業セクター

### 採掘ライセンスのテレビ中継オークション始まる

改定マイニング法に則り、政府は、採掘ライセンスの売却を透明化するため、初めてテレビ中継による入札を試みましたが、しかし、この最初のテレビ中継オークションは、複数のキルギス団体の代表者約50人が、「母国を売るな」、「外国人が、祖国を強奪している」などと叫びながら、スタジオに乱入したことから中止されました。政府は、11の金鉱区と1つの炭鉱をオークションする予定でした。これら12の採掘コンセッションは、開始価格60ドル～65,000ドルで、中国、ロシア、アゼルバイジャン、トルコなど海外企業と国内企業、約50社が参加して実施される予定でした。経済・独占禁止政策省のサリエフ大臣は、「無責任で、規律を欠いた状況では、投資家は参加しない」と、この抗議者たちを非難しました。また、地質・天然資源国家機関のタシバエフ氏は、「この抗議行動は、ライセンスを不法に販売し続けたいとする人々によって組織されたものだ」と断じ、日程を再調整して、テレビ中継オークションを実施すると述べました。

## 農業セクター

### 中央アジアの干ばつの影響

今年の夏、中央アジアは干ばつの被害に襲われています。キルギスでは、家畜の餌不足が深刻化しています。雨不足と前例のない高温から、麦が、早く穂をつけ、いつもよりも2週間早く刈入れ時期が到来しています。しかし、実は十分に育っていないため、収穫ができません。相当の量が、損失となりそうです。不足分は、ロシアとカザフスタンから輸入を検討していますが、ロシアとカザフスタンも、この厳しい天候の被害を受けており、今年の収穫量は減少すると予想しています。カザフスタンは、昨年よりも206,200トン少ない、593,600トン(-34.7%)の収穫量と予想しています。キルギス政府は、食料危機に備えて、630万ドル相当の穀物を市場から購入して、安く国内に供給することを計画しています。また、ロシアは、人道援助として2万トンの食料援助と8万トンの期間1年の貸付を約束しています。しかし、世界的な小麦価格の上昇が予想される中、キルギス国内の食料危機に対する備えは脆弱です。

## カザフスタンの輸入規制

キルギス農業省は、カザフスタンが、近くキルギスの精肉と乳製品の輸入規制をする可能性に備えていると発表しました。キルギスは、現在、キルギスの畜産物の 10% をカザフスタンに輸出しています。しかし、カザフスタンは、キルギスで流行している口蹄疫の状況から、これら生産品の輸入を制限しようとしています。6 月、キルギスで家畜が 4,000 頭、猛毒のウイルスで倒れました。この菌株は、予防接種した家畜に感染する毒性があるため、カザフスタンは、潜在的な病原菌の拡散について、特に懸念しています。

## 金融セクター

### 国家開発銀行

国家開発銀行の法的・制度的枠組み、設立や事業内容を規定する法案がまとまりました。国家開発銀行設立の主な目的は、商業ベースで、主要な国家プロジェクト投資を含む投資を行い、経済開発を多様化し、促進することにあります。国家開発銀行は、公開株式会社で、株主は、国家資産管理基金を代行して政府がなります。設立原資は、センテラ・ゴールドの持つ資産（売上、抵当権、その他資産）、国立銀行の保証付きローン、実行中のローンなどです。当初の予算は、5,000 万ドルで、授権資本は、国家予算から配分された資金と株主によって移転された資産から構成されます。世界銀行のクレマー・キルギス代表は、「開発銀行の創設は、世界の経験から言えば、良いアイデアではない。世界銀行は、国家開発銀行へ資金を提供する可能性はないだろう」と設立に否定的です。

## 観光セクター

### イシククル国際空港、中距離旅客機の運転開始

キルギスのイシククル国際空港は、新たに 1,600 フィート拡張されて 7,900 フィートの滑走路となり、中距離旅客機の運転が開始されました。7 月、ロシア製ヤコブレフが、98 名の乗客と乗務員を載せて、カザフスタンのアルマティから、イシククル湖岸のタムチ町近くの空港に到着しました。カザフスタンの民間航空会社 SCAT 航空は、8 月末まで、週 2 回の便を飛ばします。イシククル湖は、カザフスタン市民に人気のある観光スポットです。空港当局者によれば、今後、さらに、ボーイング 737 のような大型機が離着陸できるように拡張工事をする計画です。政府は、現在、このために 6,850 万ドルの投資誘致を行っています。

**エネルギーセクター****例年より低いトクトグル貯水場の水位に不安**

エネルギー省のシャディエフ大臣は、キルギスは、カザフスタンやウズベキスタンへ輸出する電気を減らすだろうと発言しました。このため、電気ステーション社は、ビシュケクとオシユで、この冬、発電所の石炭や燃料オイルを購入できなくなる恐れがあると懸念しています。メディアは、猛暑が続き、キルギスの主要な貯水池の水量レベルが低くなっているため、政府が国内電力消費を抑えるためにドラスティックな政策を打ち出すのではないかと観測記事を流しています。これに対して、政府は、市民の不安が高まることを警戒しています。ババノフ首相は、「電気料金は上がらない、また計画停電もないが、電力料金の不払いの回収を強化する」と述べました。しかし、シャディエフ大臣は、「トクトグル貯水地は、昨年と比較して、710 億立方フィート少ない、6,040 億立方フィートの水量となっていて、直近の流水量測定では、2011 年の 38,800 立方フィートに対して、18,200 立方フィートとなっている」と報告、減少の理由を、電力の国内消費増大と隣国カザフスタンとウズベキスタンへの電力輸出にあると説明しています。

**カザフスタンの中央アジア統一エネルギーシステム離脱問題**

今年の初め、ウズベキスタンが、中央アジア統一エネルギーシステム (UES) から支払い額以上の電気を使用していたとして、カザフスタンが、ウズベキスタン政府に、電気使用料 750 万ドルを支払わない場合、UES から離脱すると警告しました。キルギスのエネルギー・工業省は、このエネルギー共有システムからカザフスタンとウズベキスタンが離脱しないように交渉しています。キルギスは、冬季の凍結で、停電を起こす水力発電に大きく依存しています。昨年、ウズベキスタンは、ガス供給が十分にできなく、多くの市民が、電気不足に会いました。カザフスタンも、同様に、石油・ガス生産地帯から離れているシムケントやアルマティなど南部の都市に電力を供給するのに苦労しました。キルギスのエネルギー・工業省は、「今年、カザフは、中央アジア統一エネルギーシステムに、一日 100 メガワットを上限として電力供給する」と予想していますが、カザフスタン当局は、2013 年までに満足のゆく契約が出来なければ、キルギス、ウズベキスタンとの地域エネルギー網から離脱すると強硬姿勢を続けています。この問題は、9 月 21 日～22 日、アスタナで開催される会議で議論される予定です。



**情報・通信セクター****グーグル、キルギスにデータ・センター設置を検討中**

オトルバエフ副首相は、「この小さな国に、グーグルは、興味を持っているようだ」と述べました。副首相は、キルギスには、インターネットの巨人を惹きつける安い電力があり、また、歴史的に検閲制度のないキルギスは、グーグルのデータ・センターにとり理想的な国であることを強調しました。

**運輸・交通セクター****マナス国際空港、2012 年上半期の旅客者数が、前年比 27%アップ**

マナス空港は、今年上半期、約 8,800 便の利用がありました。空港は、ビシュケクの近郊に位置しており、81 万人（前年同期 63 万人）の乗客がありました。利用客数の増加は、主に、新たに就航した 14 の国際路線によるものです。ドバイ、イスタンブール、キエフなどの新規路線、また、多くの航空会社がフライトを増便しました。航空貨物は、昨年比 2% 増え、10,500 トンを超えました。マナス国際空港株式会社は、11 の国内空港と国際空港を運営しています。キルギス政府は、現在米国と NATO が使用しているマナス空港輸送センターを 2014 年のリース契約終了後、民間空港に転用し、中央アジアのハブ空港にする計画です。

\*\*\*\*\*

**執筆者略歴**

熊切一郎：1976 年一橋大学経済部卒、同年三菱信託銀行入社、香港、ロンドン、シンガポール勤務、主に国際金融開発、国際投融资業務を担当、2005 年三菱 UFJ 投信、2010 年 9 月より独立行政法人国際協力機構シニアボランティアでキルギス共和国大統領府が設立した Public-Private Partnership and Investment Promotion Center で 投資アドバイザーとして活動中。